

血小板(カナマイシン管)				201300	
				担当部署	
PLT(カナマイシン)				血液	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→血液学→			
	2	電子カルテ→指示①→検査→*3.緊急→			
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		CBC に準ずる			
検査受付時間		緊急対応（24 時間）			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	4 0 カナマイシン	EDTA-2K カナマイシン	2	mL
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1)凝固した検体（凝集コメント報告許容） 2) サンプリングできない検体			
保管検体の保存期間		室温・当日中（追加検査については、検査室に要問合せ）			
検査結果・報告					
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部			

測定時間		当日中				
生物学的基準範囲		設定なし				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	10 ⁴ /μL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値		高値	設定なし			
		低値	設定なし			
生理的変動要因		CBC に準ずる				
臨床的意義		E D T A 依存性偽性血小板減少の発生頻度は 0.1～0.2%で、種々の疾患を有している人、抗菌薬投与患者、自己免疫疾患に多いといわれていますが、健常人にも認められます。その機序の詳細は不明ですが、E D T A が存在すると血小板表面の抗原が変化し、免疫グロブリンが反応して凝集を引き起こすと考えられます。				
		EX 共通 CL1084 : 「三輪血液病学 2006」1647-1648				